

参考資料

1. 現在行われている共同研究
2. 国立民族学博物館（みんぱく）所蔵の研究資料等について
3. 共同研究会旅費所要額算出資料

資料 1

現在行われている共同研究一覧

詳細につきましてはHPをご確認ください。(<https://www.minpaku.ac.jp/research/project/iurp>)

(一般)

所属	研究課題名	研究代表者名
姫路獨協大学 人間社会学群	フォト・エスノグラフィーの実践に関する方法論の検討	岩谷 洋史
国立民族学博物館	国立民族学博物館の資料収集活動に関する研究——創設後50年 のレビュー	飯田 韶
名城大学 外国語学部	呪術的偶発性と共同性の人類学的研究	津村 文彦
大阪大学 大学院人文学研究科	非欧米圏ポピュラー音楽の実践に見る新たな文化動態	櫻間 瑞希
国立民族学博物館	日本人にとって鳥とは何か——鳥の文化誌をめぐるT字型学際共同研究	卯田 宗平
城西国際大学 国際人文学部	国立民族学博物館所蔵の北方デネー（北方アサバスカン）関連資料の活用に関する研究	井上 敏昭
国立民族学博物館	バスケタリーと線状物に関する人類学的研究——植物生態と民族技術に着目して	上羽 陽子
国立民族学博物館	知的境界領域における生態想像力の往還	山中 由里子
桜美林大学 リベラルアーツ学群	民博アーカイブに基づく人類学史研究	中生 勝美
名古屋大学 大学院人文学研究科	観光はいかに「善きもの」となりうるか?——幸福と創造の共同性に向けて	東 賢太朗
島根大学 法文学部	現代社会における人格概念の変容と拡大	福井 栄二郎
立命館大学 文学部	観光人類学3.0——身体の経験と循環の観点から	小野 真由美
筑波大学 人文社会系	脱復興の災害人類学	木村 周平
佐賀大学 農学部	人類の都市への適応を再考する——生業のグローバル・ヒストリー	中井 信介
国立民族学博物館	学術資料デジタルアーカイブの活用法としてのデジタルストーリーテリング——X-DiPLASのアフリカ写真コレクションを例とした実践的研究	小林 直明
早稲田大学 文学学術院	現代のジェンダー／セックス／セクシュアリティをめぐる共時的なグローバル現象と人類学	國弘暁子
国立民族学博物館	もめごとの対処と共生の人間学	藤井真一

(若手)

所属	研究課題名	研究代表者名
京都大学 大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	アフリカの人びとはいかに「アフリカ史」を語ってきたか——アフリカのローカルな歴史からみた「アフリカ史学史」	中尾 世治
天理大学 国際学部	日本人によるオセアニアコレクションの形成とモノの来歴——東大資料とみんぱくコレクションを中心に	土井 冬樹
東京大学 大学院総合文化研究科	写本のモビリティと物質性——中西コレクション収蔵写本の学際的研究とデジタル・アーカイブ構築に向けて	浜田 華練

資料 2

国立民族学博物館（みんぱく）所蔵の研究資料等について

国立民族学博物館が所蔵している諸資料は、次のとおりです。日本語図書、外国語図書、雑誌などの所蔵情報、服飾関連情報のデータベースは、ウェブサイトからも検索できます。

1. 諸資料の所蔵一覧（令和7年3月31日現在）

標本資料（未登録資料含む）	347,183点
海外資料	181,020点
国内資料	166,163点
映像・音響資料	73,311点
映像資料	8,426点
音響資料	64,885点

文献図書資料	
図書（製本雑誌含む）	700,323冊
日本語図書	278,604冊
外国語図書	421,719冊
雑誌	17,542種
日本語雑誌	10,396種
外国語雑誌	7,146種

HRAF (Human Relations Area Files)

地域（民族集団）ファイル	465ファイル
原典（テキスト）	9,115冊

2. データベース

本館の所蔵資料をはじめ、さまざまな研究資料や研究成果をデータベース化し、館内外に広く提供しています。

以下URLから、データベースを閲覧できます。

https://www.minpaku.ac.jp/sharing/database/database_list

また、「国立民族学博物館 要覧 2025」ではデータベース一覧及び収録レコード数等を掲載しております。（p48 参照）

<https://www.minpaku.ac.jp/aboutus/organization/youran>

3. 民族学研究アーカイブズ

国立民族学博物館では、発足以来、民族学者の研究ノートや原稿、フィールドで収録した映像・録音記録など、様々な資料を蓄積してきました。

以下URLから、民族学研究アーカイブ一覧を閲覧できます。

<http://nmearch.minpaku.ac.jp/>

4. その他

本館の研究活動情報、展示、本館の刊行物、本館が所蔵する図書資料の検索などの情報を国立民族学博物館ホームページで提供しています。

資料 3

共同研究会旅費所要額算出資料

共同研究会開催計画に伴う所要経費（館外共同研究員旅費）については、下記により算出してください。

なお、本資料は、館外の共同研究員が共同研究会に参加された場合の目安金額であって、実際に研究会に参加されたときは本館の旅費支給規則に基づき計算しますので金額が異なります。

記

1. 次の区分の住所により、下表の地区別を適用してください。

- ① 公的機関（国、地方公共団体、大学法人等）、私立大学、会社等に所属される共同研究員は、共同研究員の所属機関の住所
- ② 非常勤講師、大学院生及び所属機関のない共同研究員は、共同研究員の自宅住所

◎ 共同研究会出席（1人・1回当たり）の所要経費（概算）

地区別	都道府県名	1日開催の場合		連続2日開催の場合	
北海道	北海道全域	1泊2日	86,340円	2泊3日	99,840円
東北	青森県、秋田県、山形県、岩手県、宮城県、福島県		77,800円		93,460円
関東	東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県		46,300円		59,800円
	茨城県、栃木県、群馬県		51,100円		64,600円
甲信越	新潟県、山梨県、長野県		48,400円		61,900円
北陸	富山県、石川県、福井県		32,400円		45,900円
東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	日帰り	17,400円	1泊2日	41,100円
近畿	大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県		3,700円		7,400円
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	1泊2日	36,400円	2泊3日	49,900円
四国	香川県、徳島県、愛媛県、高知県		37,100円		50,600円
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県		51,800円		65,260円
沖縄	沖縄県		68,800円		82,300円